



▲子育てを支援する保育所で元気に遊ぶ子どもたち

少子化対策の充実を

答 弁 = 子育て環境を充実する
町 長

質問 施政方針には、様々な子育て支援の施策が盛り込まれているが、少子化傾向の改善は、

答 弁 これらの施策による少子化傾向の改善について予測は困難である。

質問 少子化対策の主要な施策を効率よく運営するための組織統合は、

答 弁 統合した方が効果はよいが、組織の人員が減少しているのが課題である。

質問 若者の出会いをサポートする場づくりは、

答 弁 若者の出会いの場づくりは、県など近隣と共催で考えたい。

質問 ワークライフバランスなど、子育て環境の改善策は、

答 弁 夫婦共働きの世帯



自治クラブ代表

毛利 豊

が増え、男性の家事参加や保育施設の充実など、子育てしやすい環境づくりを進めたい。

小学校区の見直し

答 弁 教育長

質問 北小の廃校に伴って該当地区に住む児童には、当面は校区外でも通学できる弾力措置が行われてきたが、これはいつまで続けるのか。また、地域からの要望にはどのように対処するのか。

答 弁 校区外にも通学できる弾力措置は平成25年度で終了し、平成26年度からは、指定校区に通学する。なお、地域の要望などについて調査し、必要があれば校区審議会を開催して検討したい。

これからの環境施策は

答 弁 町長

質問 当町の環境基本計画は目標年次を迎えているが、これまでの実績評価とこれからの施策は、

答 弁 ごみの減量化・資源化などで成果はあったが、ため池協議会の設立は遅れている。

質問 国のCO₂ 25%削減案に対する取り組みは、

答 弁 今後、環境省の方針が決まれば対応したい。

質問 環境ISOの取得は、

答 弁 ISOの認証取得はしないが、その手法は取り入れていきたい。

質問 ごみ処理施設の広域化とごみ減量化は、

答 弁 施設の更新や減量化は単独では難しいので、広域で検討したい。



▲大気汚染の状況は大丈夫？

大気汚染などの影響は

答 弁 = 心配する事例はない
町 長

質問 町長は、大気汚染や粉塵など健康への影響について「小学生を中心に調査を引き続き実施する」、また、大気観測項目に該当しない「より小さな粒子」の測定も継続すると述べているが、特に心配する原因が発生しているのか。

最近、北本荘地域で「キラキラする小さなものや、黒い粒子状のものがよく飛んでくる。神鋼が塀を高くしたから余計に飛んでくるのでは」という声がある。大丈夫なのか。

答 弁 神鋼などの事業所や幹線道路などから発生する粉塵による大気汚染の住民への影響を疫学的に評価することを目的に、平成20年度から5年計画で調査を実施。町内4小



公明党代表

古川 美智子

学校の全学年の児童を対象に、83項目についてアンケート方式で質問を行った。結果として、ぜんそくなどの有症率は認められなかった。より小さな粒子(PM_{2.5})についても庁舎屋上と蓮池小学校屋上に試料採取装置を設置しているが、心配する事例は発生していない。

ヒラフクチン接種に助成を

質問 本年、県の予算ではヒラフクチン接種の補助限度額は一回につき2千円。負担割合は県4分の1、市町4分の1、自己負担2分の1である。県と同様に播磨町も2千円助成すべきでは。

答 弁 子育て支援施策と

して助成を考えている。子どもの細菌性髄膜炎を予防するため、県が公費助成を行うもので、具体的な実施方法などは加古川市・稲美町・医師会と協議していきたい。

東はりま交流支援センターの活用は

質問 今年5月オープンする(旧北小学校内)を福祉活動、地域交流、障がい児支援の場として位置付け、活動を推進するところがあるがどのようにするのか。

答 弁 福祉事業、地域活動事業、地域交流事業、特別支援学校との連携事業を中心に毎月の運営会議で決定する。